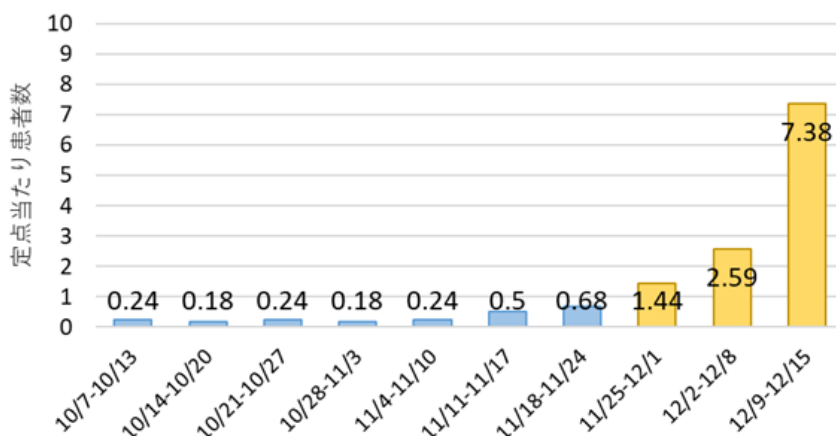


“手洗い”でインフルエンザ予防！

今年もあと残りわずかとなりましたが、2019年第50週（12月9日～12月15日）の定点当たりインフルエンザ患者報告数は15.62となり、前週の定点当たり報告数9.52より増加し、全国的に流行の注意報レベルを超えました。大阪大学病院のある豊能地域でも第50週で急激に報告数が増加しています（図1）。

図1 豊能地域2019シーズンのインフルエンザ流行状況



インフルエンザ予防には、マスク着用よりもまず第一に手指衛生が有効であることが研究によるエビデンスで示されています。しっかりと手洗いを行い、インフルエンザ等の感染を予防しましょう。

昨年感染制御部では、「真実の口」を用いた手指衛生の啓発イベントを行いました。今年はEXPO CITYのニフレルとコラボして、病院玄関に動物の足跡で手指衛生剤に誘導するイベントを行っています（図2）。

図2. ニフレルとのコラボレーション
手洗いキャンペーン



インフルエンザシーズンを迎えて、ますます手指衛生の重要性は増しています。患者さんも自分も守るため、しっかりと手を洗いましょう。



＜外来診療における抗インフルエンザ薬予防投与の保険適応について＞

現在、予防目的で使用可能な抗インフルエンザ薬は、「タミフル®」「リレンザ®」「イナビル®」がありますが、いずれの薬剤も、予防投与を行う際は、「自費扱い」になりますのでご注意ください。